

四国銀行と皆さまを結ぶ情報誌

しぎん Report

140
Anniversary

いつもあなたのそばに。そして、これからも

Just
Like
Family!

2018年9月期
ミニディスクロージャー誌

第205期中間 営業のご報告



140年のあゆみ



しぎん 今昔物語

よさこい祭り会場
をご紹介します

四国銀行140年のあゆみ

～しぎん今昔物語～

TOPMESSAGE

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、本年10月17日、私ども四国銀行は創業140周年を迎えることができました。この140年の間には、経済の混乱、戦争、天災など、さまざまな困難が幾度もございましたが、地域の皆さま、お客さま、株主さま、先輩諸氏のお力に支えられ、今日を迎えることができましたこと、歴史の節目にあたり感謝の想いを新たにしているとこころでございます。永きに亘るご支援、ご愛顧に対しまして、重ねて御礼申し上げます。

さて、本冊子の冒頭では、創業からの沿革を辿るとともに、「しぎん今昔物語」と題し、よさこい踊りや制服の移り変わり、新たな取組みなどにつきまして掲載させていただきました。また次頁以降では、前号に引き続き、当行のさまざまな企業活動を、社会のサステナビリティ（持続可能性）への貢献の観点から踏まえESGの切り口でご紹介しております。ご高覧いただけましたら、幸いに存じます。

当行は、次の節目の150年、更には200年に向けて、地域の皆さまに寄り添い、ともに歩みを進めてまいります。引き続きのご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年 12月

取締役頭取 **山元 文明**



1878
明治11年
創業
(第三十七国立銀行設立)



第三十七国立銀行所在地付近の商店



第三十七国立銀行券

1916
大正5年
本店を新築(現在地)



1923
大正12年
土佐銀行を合併
商号を株式会社四国銀行と改称

1926
大正15年
関西銀行を合併
関西銀行本店を
四国銀行徳島支店とする
その他徳島県内店舗
21カ所他を継承

- 1945(昭和20年)終戦
- 1946(昭和21年)昭和南海地震

1963
昭和38年
新本店落成



1974
昭和49年
**東京、大阪
両証券取引所市場
第1部上場**

1978
昭和53年
創業100周年を迎える
(資本金63億円)

1982
昭和57年
**総預金残高
1兆円突破**

1975
昭和50年
**総預金残高
5,000億円
突破**

1965
昭和40年
**総預金残高
1,000億円
突破**

1952
昭和27年
**総預金残高
100億円突破**

2013
平成25年
**インターネット専用
支店「龍馬支店」新設**

1994
平成6年
**総預金残高
2兆円突破**

2016・2017
平成28年・平成29年
ミニディスクロージャー誌と行内報の刷新
ミニディスクロージャー誌は、A4サイズに拡大し、読みやすい「情報誌」に変更。四国銀行の“現在”をわかりやすくご紹介しております。

ミニディスクロージャー誌



行内報



2016
平成28年
**地銀4行による四国創生に向けた包括提携
「四国アライアンス」の締結**

2016・2018
平成28年・平成30年
よさこい踊りの刷新

2016年に衣装・踊り・音楽など全てを一新。衣装は青を基調に、袖に四国銀行の「四」を大胆にプリント。正調を残しつつ躍動感のある振付に変更し、歌詞には地域貢献への想いを込めました。2018年には創業140周年を記念しバージョンアップ。白を基調とした衣装に、振付は創業当時が大流行した人形浄瑠璃をモチーフに、女踊りと男踊りの構成にしました。



2017
平成29年
女性の制服復活
お客さまにこれまで以上の信頼感・安心感を持っていただき、行内の統一感を醸成するため、女性の制服を14年ぶりに復活させました。



2018
平成30年
**地銀7行によるデジタル化戦略に関する連携協定
「フィンクロス・パートナーシップ」の締結、共同出資
会社「株式会社フィンクロス・デジタル」の設立**

総預金残高
2兆7,264億円
平成30年9月現在

貸出金残高
1兆6,949億円
平成30年9月現在

2018
平成30年
創業140周年
140 Anniversary

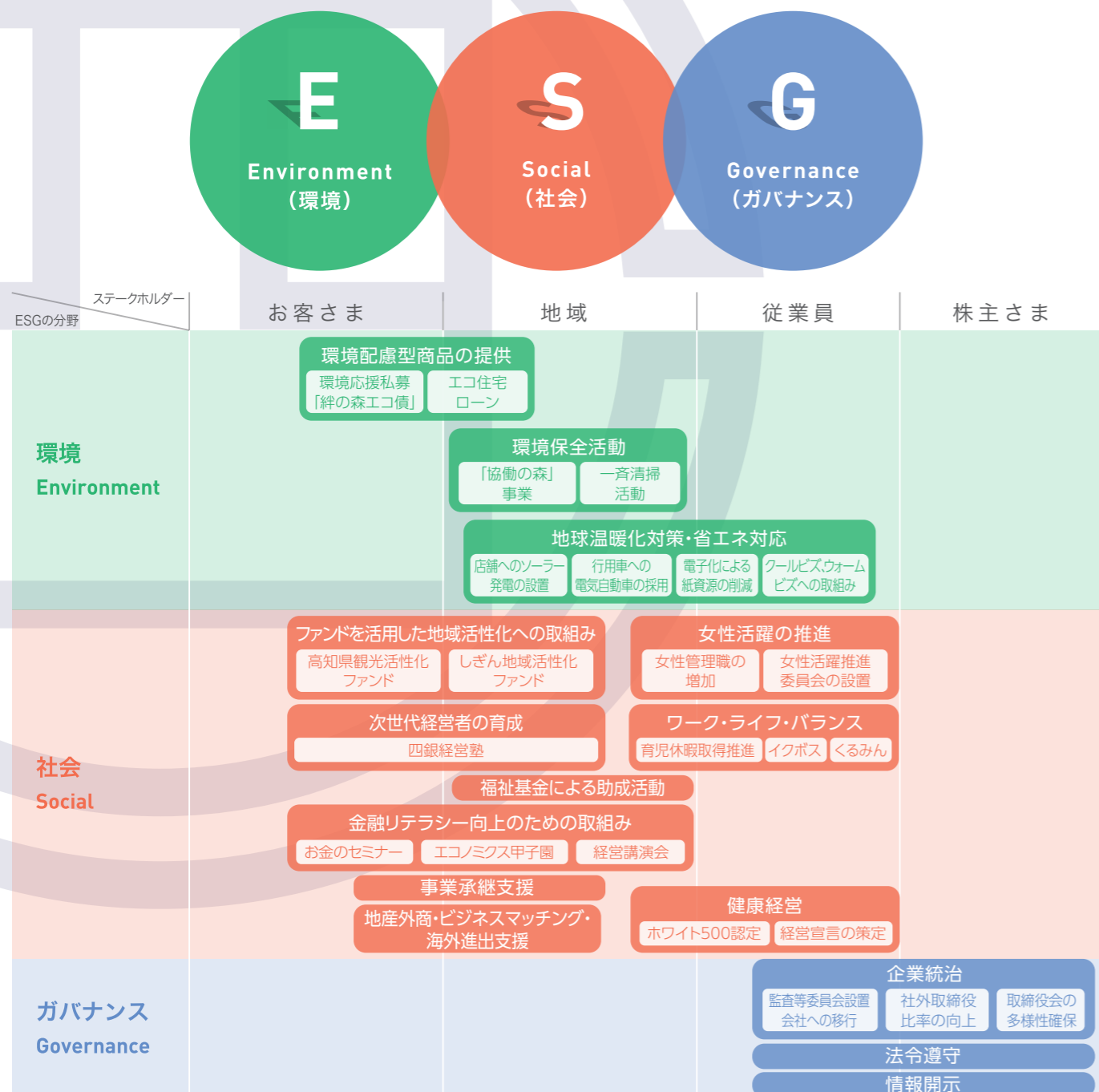
ESGへの取り組み

～社会のサステナビリティ(持続可能性)への貢献に向けた企業活動～

四国銀行は、「真っ先に相談され、地域の発展に貢献するベスト リライアブル・バンク」の実現に向けて、地域金融機関としての金融仲介機能やコンサルティング機能をしっかりと果たすことで、ステークホルダー（地域・お客さま・株主さま・従業員）の価値向上を図り、ひいては当行の発展につなげていく好循環の創出を目指しております。

また、その実現には、社会のサステナビリティ（持続可能性）への貢献が不可欠であり、ESGへの対応を将来への投資と位置付け、地域社会の発展、活性化に向け積極的に関与していく必要があると考えております。

当行は、中長期的な企業価値の向上に取り組むとともに、社会を構成する一員として、社会的な課題への対応や環境保護・保全活動を進めていくことで社会に貢献してまいります。



環境保全活動

「四銀絆の森」でのCO₂削減活動

当行は、2007年に高知県・高知市と「協働の森」事業のパートナーズ協定を締結して以来、高知市鏡柿ノ又の市有林を「四銀絆の森」と名付け、県と市とともに守り育てています。

人工林は、定期的の間伐を行い健全な森にすることで、効果的にCO₂を吸収できる森になります。「四銀絆の森」では当行の行員が年3回の間伐活動を行い、CO₂削減に貢献しています。

当行は今後も行員による間伐活動を続け、健全な森づくりに取り組んでまいります。

CO₂ 吸収量と間伐活動参加人数

2007～

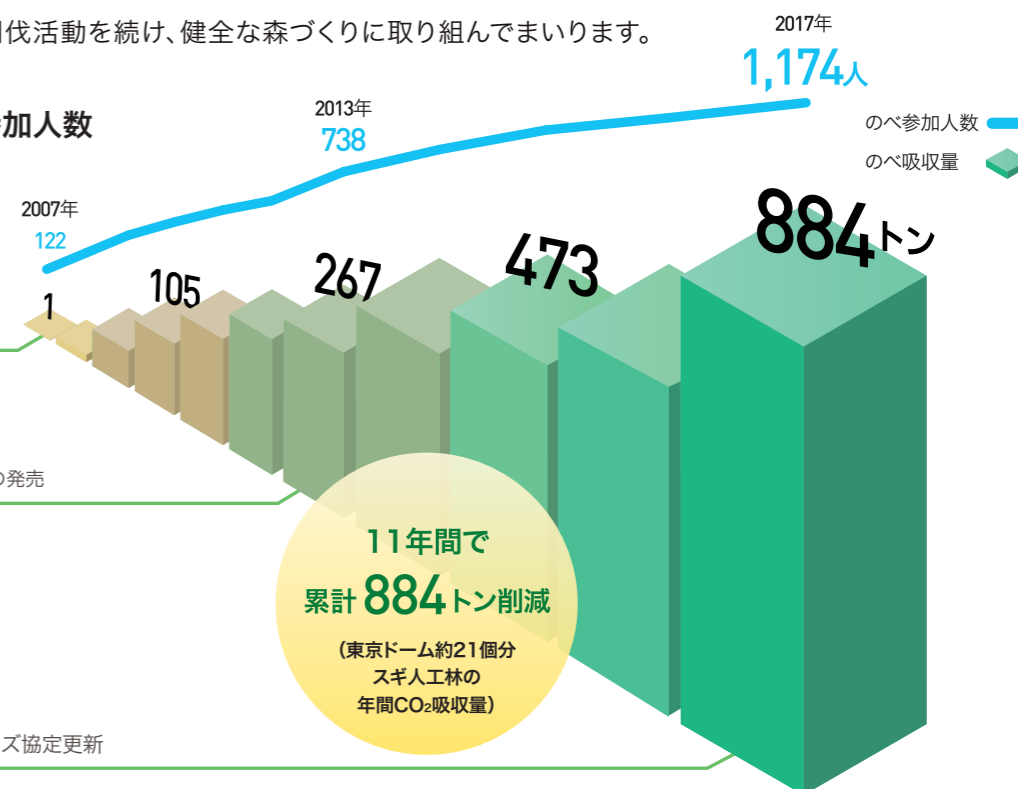
- ・「未来を鏡に～四銀絆の森」パートナーズ協定締結
- ・「四銀絆の森」間伐活動の開始
- ・「環境応援定期絆の森」の発売

2013～

- ・「絆の森カーボンオフセット定期預金」の発売

2017

- ・「未来を鏡に～四銀絆の森」パートナーズ協定更新



CO₂吸収証書



「協働の森」事業の制度では、当行および高知市が間伐した面積に応じて、高知県よりCO₂吸収証書が授与されます。2017年度は215tのCO₂を吸収できました。



参加者(行員)の声

桂浜通支店 関川 はるか

チェーンソーを使って間伐することでしたので、初めは不安でしたが、こうち森林救援隊の皆さまや経験豊富な参加者の方々が丁寧に指導してくださったこともあり、想像以上に楽しむことができました。普段ではできない貴重な体験となりました。

こうち森林救援隊からのメッセージ 事務局長 中川 睦雄

2005年のこうち森林救援隊の設立以来、森林保全のための様々な活動において、常に協働の関係を構築し、発展させてくれている四国銀行の一貫した真摯な取組みに、心より敬意を表し、感謝申し上げます。





ファンドを活用した地域活性化への取り組み

「ザ・シックスダイアリー かほくホテルアンドリゾート」オープン

2018年7月12日、家族の思い出づくりをコンセプトとした、宿泊だけでなく、香北の自然・食・歴史を体感できる施設「ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート」がオープンしました。

当ホテルは、「高知県観光活性化ファンド」の投資先である「株式会社香北ふるさとみらい」が、香北地域の活性化を図るため、前身の「ピースフルセレネ」の閉館以降、再オープンに向け準備を進めてきたものです。

当行も上記の取り組みについて、地域振興部が中心となり支援してまいりました。今後も本ファンドの取り組み等を通じて、高知県の観光産業の発展を支援していきます。

「高知県観光活性化ファンド」とは？

当行と株式会社地域経済活性化支援機構等が出資し、設立されたファンド。
高知県の観光消費拡大に向け、地域の雇用を支える基幹産業である観光を軸に地域活性化を目指しています。

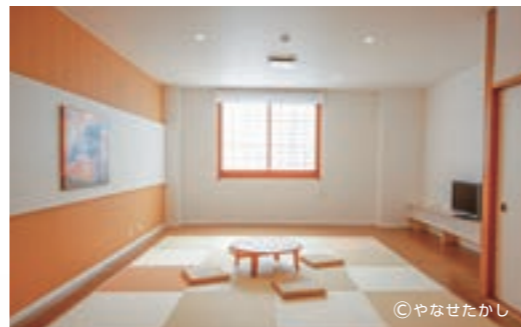
**ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート
～5つの物語そして家族で紡ぐ日記～**

1. Stay : 宿泊体験
2. Eat : 食体験
3. Gateway : 物部川流域体験
4. Refresh : リフレッシュ体験
5. Landscape : 香北町の魅力発見体験
6. Diary : 家族で紡ぐ日記

6つ目の体験として、かほくでしかできない体験を通し、家族だけの思い出を「家族のものがたり」の1ページとして加えていただきます。家族日記を綴っていく体験をご提供します。



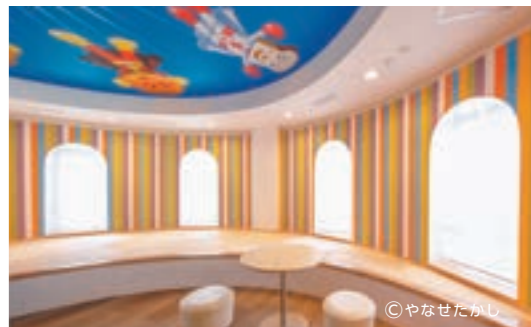
©やなせたかし



©やなせたかし



©やなせたかし



©やなせたかし

The 6th Diary
Kahoku Hotel & Resort



2018. 7/12 Renewal Open!

Staff Comment

当ホテルは、家族連れのお客さまが気兼ねなくゆっくりつづるホテルとなっております。お子さま用のアメニティーも充実させたり、お風呂にお子さまに喜んでいただける工夫を凝らしてあります。お子さまが主役になれるホテルです。
また、ベッドガードなどの貸出し備品も取り揃えており、初めてのお子さまのご旅行でも安心してご利用いただけます。ぜひ当ホテルをご利用くださいませ。

ホテルスタッフ：米津 ひとみ



地域振興部 調査役 柴田 智文

2016年4月頃からホテル建物の有効利用について検討を開始し、多くの方々と協議を重ね、2018年7月によりやくリニューアルオープンを迎えることができました。関係者の皆さまのご支援、ご協力に改めて御礼申し上げます。今後は物部川地域の重要な観光施設として「香北ふるさとみらい」と共に、地域の方々にも、ゲストにも愛されるホテルを目指してまいります。レストランも併設しておりますので、ぜひ一度お立ち寄りください。

高知県観光活性化ファンドの取り組みが書籍化されました!

株式会社KADOKAWAのウェブサイトで連載中の「かわるに、かあらん 高知県地方創生プロジェクトにかけた男たち」が書籍化されました。当ホテルオープンを企画・支援した「株式会社香北ふるさとみらい」の社長 池尻申氏と古川陽一郎氏の地域創生物語を描き、当行の地域振興部 調査役 柴田も登場します!



SOCIAL



ワーク・ライフ・バランス

イクボス

2018年7月に従業員の仕事と家庭の両立を図り、やりがい・働きがいのある職場環境づくりを実現するため、「イクボス宣言」の実施および「イクボス企業同盟」への加盟を行いました。また、2018年9月にはNPO法人ファザーリング・ジャパンの理事を務める徳倉康之氏を講師として招き、役員をはじめ全店の支店長などが参加するイクボスセミナーも開催しました。



●イクボス宣言調印式



●イクボスセミナーの様子

くるみん

2018年7月に厚生労働大臣より次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業として「くるみん」の認定を受けました。これは、当行が従業員の仕事と家庭の両立に向けて策定した「一般事業主行動計画」に対する取組み実績が認められたものです。今後も従業員のワーク・ライフ・バランスの実現や子育て支援など、従業員が働きやすい環境づくりを進めてまいります。



●高知労働局で行われた認定通知書交付式



●くるみん認定マーク

従業員が、
働きやすい
職場づくり

イクボスとは？

職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のこと。

イクボス企業同盟とは？

女性活躍やイクメンなど社員が多様化する時代において、「イクボス」の必要性を認識し、積極的に自社の管理職の意識改革を行って、新しい時代の理想の上司(イクボス)を育てていこうとする企業のネットワーク。

「くるみん」認定とは？

子育てサポート企業として、次世代育成支援対策推進法に基づき、厚生労働大臣が企業に対して行う認定。企業が同法に基づいた行動計画の策定・届出を行い、その行動計画に定めた目標を達成するなどの一定の要件を満たした場合、子育てサポート企業として「くるみん」認定を受けることができます。



企業統治

コーポレートガバナンスの実効性向上に向けた取組み

2015
12月

「コーポレートガバナンスに関する基本方針」の制定

当行の持続的成長と中長期的な企業価値向上を図るため、コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方、運営方針等を定めております。

コーポレートガバナンスの基本的な考え方

- 当行は、株主をはじめ、様々なステークホルダーとの協働を確保し、適切に業務を運営することにより、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、コーポレートガバナンスを経営上の最重要課題の一つととらえ、その強化・充実に努める。
- 当行は、企業統治体制として監査等委員会設置会社を採用し、重要な経営判断と業務執行の監督を担う取締役会と、その過半数が社外取締役である監査等委員で構成される監査等委員会により、監督・牽制機能の実効性の維持・向上に努める。

ガバナンス委員会の設置

コーポレートガバナンスの向上を図るため、取締役会の諮問機関として、ガバナンス委員会を設置しております。

ガバナンス委員会は、代表取締役及び社外取締役の全員で構成し、取締役の選解任、役付取締役の選定、取締役(監査等委員であるものを除く)の報酬等、その他コーポレートガバナンス上の特に重要な事項について協議し、取締役会に対して助言・提言を行っております。

●構成メンバー



委員… 代表取締役、社外取締役



委員長… 委員の互選により社外取締役の中から選定



社内取締役 社外取締役

2018
6月

監査等委員会設置会社への移行

取締役会の監督機能の一層の強化とガバナンスの更なる充実を図るとともに、権限委譲による迅速な意思決定と業務執行により、経営の公正性、透明性及び効率性を高めるため、監査等委員会設置会社へ移行しました。

取締役総数に占める社外取締役比率

取締役

38.4%

社外取締役5名 / 取締役総数13名

※ 多様性確保を通じた取締役会の実効性向上の観点も踏まえ女性取締役を登用するとともに、弁護士、公認会計士など財務・会計・法務に関する知見を有する監査等委員を選任しております。

四国アライアンス NEWS

四国アライアンスでは、今年度も「興す」「活かす」「繋げる」「育む」「協働する」の5つのテーマをもとに、四国創生に向けたさまざまな施策に取り組んでいます。

Shikoku Alliance News 2018

4行合同による「合同研修会」開催!

異なる企業文化を持つ受講生が一堂に会することで、受講生間の相互理解の向上や競争意識の醸成を図ることなどを目的に、4行合同の「研修会」を開催しています。本会では、他行の行員との議論やグループワークを通じて、各テーマに対する理解を深めるなかで相互に親睦を図ることができるなど、大変有意義な研修会となっています。

次世代リーダー研修会



- 開催期間**
- 7月～12月
(2～3日間の宿泊研修×5回)
- 主な内容**
- 地域創生についての講演
 - 人間力・リーダーシップ等についての講義
 - 新規事業プランの策定



「次世代を担う人財の育成」

女性リーダー研修会



- 開催期間**
- 7月、9月
(2日間の宿泊研修×2回)
- 主な内容**
- マネジメントについての講義
 - 案件処理演習
(インバスケ方式)



「女性行員の
人財育成」

事業性評価能力レベルアップ研修会



- 開催期間**
- 7月～1月
(2日間の宿泊研修×4回)
- 主な内容**
- 事例研究を通じた取引先の実態把握・事業性評価力の向上



「若手行員の
コンサルティング
能力向上」

「四国の未来」1周年記念セミナー開催!

開催日 ● 8月2日 参加人数 ● 約100名



共同企画として組成した投資信託「四国アライアンス地域創生ファンド(愛称:四国の未来)」の発売1周年を記念し、四国4県の6会場で1周年記念セミナーを開催しました。

本セミナーの高知県会場には約100名のお客さまが来場され、「世界経済の現状と株式市場の見通し」および「四国の未来」の運用状況についての講演・報告がなされました。

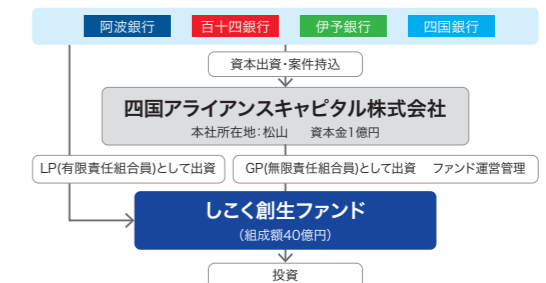
ご出席いただいたお客さまからは「『四国の未来』の商品理解とあわせて、今後の資産運用に有益な情報を得ることができた」とのご意見をいただくなど、大変有意義なセミナーを開催することができました。



四国アライアンスキャピタル株式会社 第1号投資実行!

4行共同出資により設立したファンド運営会社、四国アライアンスキャピタル株式会社は、運営する「しこく創生ファンド」の第1号案件として、株式会社GEホールディングス様(本社:愛知県名古屋市、企画・研究開発拠点は兵庫県神戸市)への投資を実行しました。

今後も「事業承継の悩みを抱えるお客さま」、「更なる事業成長を目指すお客さま」、「新事業を創出するお客さま」など、様々なビジネスステージにあるお客さまに対し、ファンドを通じた企業価値向上を図っていきます。



その他、さまざまな施策を通じて「四国創生」に取り組んでいます!

- 四国新幹線整備に対する理解促進に向けた、「新幹線を活かした四国の地域づくりビジョン調査」報告書作成・発行(6月7日)
- 第2回四国食品輸出商談会開催(7月12～13日)
- 徳島県三好市で開催された「WWAウェイクボード世界選手権大会2018」に協賛、4行を代表し、よさこい鳴子踊りを披露(8月30日～9月2日)
- 対象飲食店で対象カード利用により、次回来店以降地酒サービスを提供する「地酒応援ラリー」を実施(9月1日～11月30日)



2

中央公園競演場

数少ないステージ会場であるため、大型のステージに映えるアレンジや、他の会場とは異なるパフォーマンスを観ることができます。夜にライトアップされた本会場での踊りは、艶やかで壮観です。

1

追手筋本部競演場

日曜市で有名な追手筋。テレビ中継や各賞の審査が行われ、最も熱気あふれるメイン会場です。南北それぞれの車線で2チームが同時に踊る唯一の会場でもあり、通り沿いに有料観覧席があるのは本会場だけです。

9

はりまや橋競演場

全国初の木造アーケードからは優しい光が降り注ぎ、カメラ初心者にはうれしい「逆光」です。効果もよいので、他の会場と聞き比べてみてください。

5

梅ノ辻競演場

映画「君が踊る、夏」の撮影地にも選ばれ、筆山の濃い緑を背景に万国旗がはためく風情ある会場です。ゴール地点のゲートも特徴で、最後まで踊り切った踊り子たちの達成感がより高まります。



**地区競演場連合会
奨励賞受賞**

観る・感じる・こころ 飲む

かん高知

よさこい祭り会場

南国土佐の情熱舞う、

よさこい祭り



毎年8月9日から12日の祭り期間中は、高知市内の道路やアーケード、公園が競演場や演舞場に大変身！
16ヶ所の会場ごとに特長があり、異なった趣の踊りが楽しめます。

11

帯屋町演舞場

高知でいちばんのアーケード商店街。祭り期間中は東西約550mの演舞場に変ります。観客と踊り子との距離が近く、迫力ある踊りを間近で観ることができるため、多くの観客で賑わいます。



テーマ：

「伝統と未来」

未来につながる活気と140年間続く伝統。その間変わらず支えていただいた皆さまへの感謝の気持ちをお伝えできるよう、チーム一丸となって取り組みました。

財務ハイライト

平成30年度中間期の実質業務純益は、資金利益は増加しましたが役員取引等利益やその他業務利益の減少により、前年同期比3億円減少の43億円となりました。

経常利益は、株式等関係損益は増加しましたが実質与信関係費用のマイナス額が減少したこと等により、前年同期比10億円減少の60億円、中間純利益は、特別損益の改善や法人税等の減少により、前年同期比1億円増加の43億円となりました。

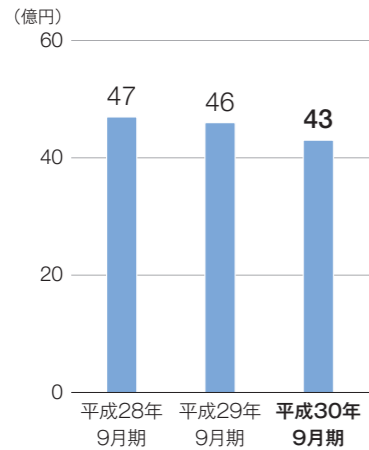
預金等残高は、個人預金や地方公共団体預金は増加しましたが譲渡性預金の減少等により、前年同期末比150億円減少の2兆7,264億円となりました。貸出金は、個人向け貸出金や中小企業向け貸出金の増加等により、前年同期末比321億円増加の1兆6,949億円となりました。

自己資本比率は9.53%であり、国内基準の4.0%を大きく上回っております。

<単体情報>

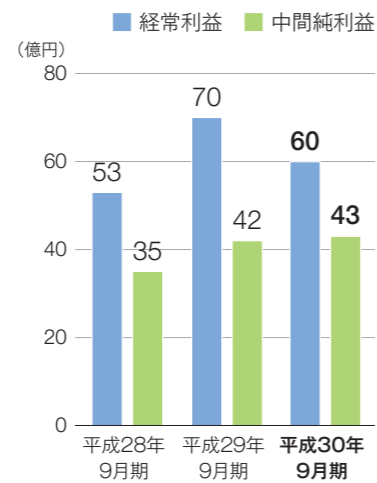
■実質業務純益

43億円



■経常利益／中間純利益

60億円／43億円



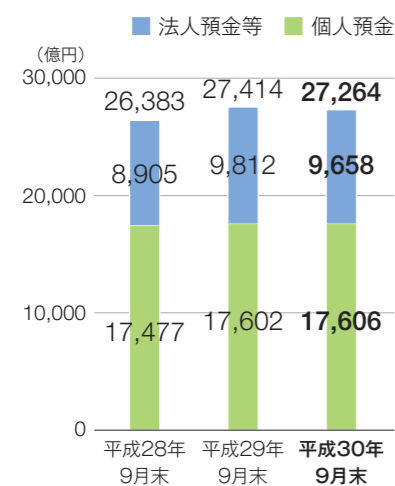
■自己資本比率

9.53%



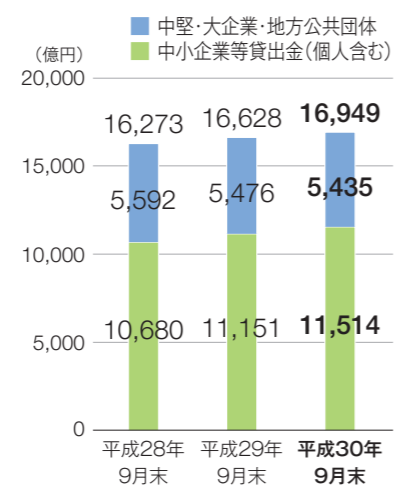
■預金等残高 (譲渡性預金含む)

2兆7,264億円



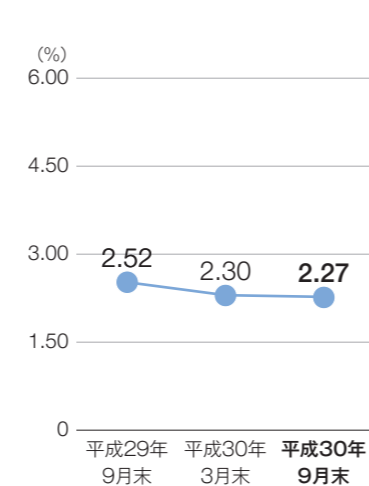
■貸出金残高

1兆6,949億円



■不良債権比率

2.27%



株主の皆さまへ

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間といたします。
配当のお支払	期末配当は、毎年3月31日を基準日とし、定時株主総会終了後ご指定の方法によりお支払いいたします。 中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日とし、取締役会の決議によってご指定の方法によりお支払いいたします。
基準日	定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告のうえ定めます。
公告方法 (電子公告)	当行の公告は、ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、高知新聞および日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	<ul style="list-style-type: none"> みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

株主の皆さまに感謝をこめて

株主の皆さまの日頃のご支援にお応えしたい。
当行株式への投資魅力を高め、より多くの方々に当行株式を保有していただきたい。
そういった思いから、当行では株主優待制度を実施しております。

平成31年度は、平成31年3月31日現在の株主名簿に記載された当行株式を100株 (1単元) 以上保有される株主さまを対象とさせていただきます。

100株以上1,000株未満の株式を保有される株主さま

コンビニエンスストア等でご利用いただける全国共通の商品券「クオカード」を贈呈いたします。

- 100株以上200株未満 : 500円分 (平成30年度から新たに追加)
- 200株以上1,000株未満 : 1,500円分

1,000株以上の株式を保有される株主さま

地元の特産品を中心に掲載しました専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの商品をお選びいただけます。

- 1,000株以上2,000株未満 : 3,000円相当
- 2,000株以上 : 6,000円相当



ちりめん丼 カツオのたたき 四万十うなぎ ※画像はイメージです

記念事業のご紹介

創業140周年を迎えるにあたり、地域の皆さま、お客さま、株主さまへこれまでのご愛顧に感謝申し上げますとともに、次の創業150周年へ向けて従業者間の結束を固める取組みとして記念事業を実施いたしました。

8月

創業140周年四銀お金のセミナー

毎年、小学生を対象に、本店の見学やお金に関するクイズ等を通じて、お金の役割や銀行の仕組みを学んでいただくため、「四銀お金のセミナー」を開催しています。

今年は創業140周年企画として、キャッシュレス(電子マネー、クレジットカード、デビットカード等)の機能について分かりやすく講演いたしました。



10月

「四銀絆の森」交流会の開催

毎年、高知県、高知市と提携した「協働の森」事業のパートナーズ協定における取組みの一環として、小学生や保護者を招待し、森林の大切さを学んでいただくため、記念植樹や木工教室などを行っています。

今年は創業140周年企画として、森林救援隊のご協力のもと、初めて山菜採りを実施しました。採った山菜は天ぷらにし、参加者全員でおいしくいただきました。

10月

創業140周年感謝ポスター

140年のご愛顧に対する感謝の気持ちをお伝えするため、当行の行員をモデルにポスターを製作し、創業記念日の10月17日から掲示しています。テーマは「未来」。それぞれの視線の先に当行の未来を見つめ、これからも地域の皆さまとともに歩んでいくという想いを込めています。



10月

11月

経営講演会の開催

毎年、地方創生や地域活性化、マクロ経済の今後の展望等をテーマとしたお客さまへの情報発信を目的に、経営講演会を開催しています。

今年は創業140周年記念講演として、10月2日の高知講演に岸博幸氏、11月7日の徳島講演に森永卓郎氏をお招きし、地方創生や日本経済についてご講演いただきました。



高知講演 岸 博幸氏



徳島講演 森永 卓郎氏